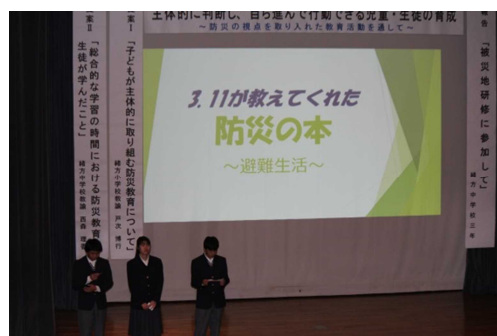


防災教育～自分の命は自分で守る～

10月29日（月）、豊後大野市立緒方小・中学校で、防災教育の研究発表が開催されました。緒方中学校では、1年生から3年生までがこれまで学習したことを班ごとに発表しました。ちょっと、発表内容をご紹介します。



1年生は、防災教育を通じて、引き渡し訓練や避難時の食事づくりなど体験したことから、自分たちの思いや願いを発表しました。特に、「災害は、家や物を壊していくけど、人の心も壊してしまう。」という言葉が胸に突き刺さりました。

2年生は、防災に関する書物をたくさん読み、仲間と意見交換を行い、そのまとめを発表しました。本を通じて事実を知り、その知識を実生活に生かすことの大切さを伝えました。

3年生は、「地域の防災リーダーになろう」をテーマに、現地学習を通して学んだことを発表しました。2017年7月5日、豪雨災害を受けた日田市小野地区を訪れ、今現在も生々しく残っている山林の大規模崩落の現場を見学したそうです。また、関係者から当時の様子を聞き、多くのことを学んだそうです。

今回の発表は、現地だから知り得た事柄や直接被害に会われた方から伺ったお話を基に構成された内容でした。素晴らしい体験学習ができたと思います。発表が、聴いている私にピンピンと伝わりました。届きました。

研究テーマは、「主体的に判断し、自ら進んで行動できる生徒」ですが、そのテーマを見事に達成した姿を見ることができました。

緒方中学校の生徒の皆さん、お疲れさまでした。これからも、豊後大野市民の一人として、活躍することを願っています。